

## 藤沢市下水道地図情報システム選定に係るプロポーザル 評価基準の考え方(公開用)

評価項目	評価の視点
1. 会社評価	継続的に業務を遂行できるだけの企業であるかを確認するため、在籍する従業員(下水道地図情報システムに必要な技術者)数、実績等を確認する。
2. 業務実施体制	本システムの構築とシステムの照査が効果的に実施できる体制と、有資格者を配置しているかの確認を行う。
3. システム機能評価	別紙、要求機能書の記載内容から、市が要望する機能の実現性を確認する。
4. 業務実施方針	本業務の目的を考慮し、また、市の状況を踏まえた上で、本業務による成果を最大限の成果とできるような方針を立案しているかを確認する。
5. 業務実施工程	想定される作業工程及びスケジュールから確実な事業進捗が行えるかを確認する。また、問題が発生した際の対応方針についても確認する。
6. システム概要	本業務で構築するシステムの目的を考慮したシステム構築方針となっているかを確認する。
7. システム機能	市が要望する各業務機能の具体的な説明内容を確認する。
8. システム機器	市が要望する機器調達、機器の特徴について確認する。
9. データ移行	現在運用中の既存データ移行及び新たに導入するデータ整備方針について確認する。
10. 情報セキュリティ対策	本業務の作業中及び運用中の情報セキュリティ対応方法や、独自のセキュリティに関する取り組みなど、セキュリティ対策について記載されているかを確認する。
11. 保守サポート	システム稼働後の保守及び運用サポート、障害発生時の対応について記載されているか確認する。
12. 職員研修	システム及びデータ運用の職員へのサポートについて記載されているか確認する。
13. その他追加提案	企業特有の追加提案がされているか、市にとって有益と思われる対応及び提案がなされているかを確認する。(通常時及び災害時の業務の効率化等)
14. 見積金額	見積金額が予算額の範囲内であることを確認する。
15. プレゼンテーション評価	参加事業者の説明や市からの質疑応答など、対応状況を確認する。